

中野市介護保険事業運営協議会 会議録

1 日 時

令和元年 11 月 28 日（木） 午後 1 時 30 分から

2 場 所

中野保健センター 会議室

3 出席者

【委員】（敬称略）

丸谷和洋（会長）、高橋一美（副会長）、小林 強、大塚直美、松島治恵、渋谷昌記、関 純子、浅野茂子、工藤二六子、田村安則、齋藤文子、宮澤章仁、田中道代（計 13 名）

【事務局】

吉村高齢者支援課長、鈴木高齢者支援課長補佐兼介護保険係長、児玉介護予防包括支援係長、傳田主任主事（計 4 名）

4 欠席者

【委員】（敬称略）

南 修、杉浦宏子、江口 明、丸山扶美（計 4 名）

【事務局】

太田健康福祉部長、小林長寿福祉係長（計 2 名）

5 内 容

(1) 開会（高橋副会長）

(2) あいさつ（丸谷会長）

(3) 中野市地域密着型サービス事業指定予定事業者者の決定について

【事務局説明】

（意見等なし）

(4) 台風第 19 号による被害状況について

【事務局説明】

（委員）

1 ページ目の住家被害の中で、被害棟数が 123 件とあって、罹災証明

(申請)の受理件数が104件、109世帯となっている。この差というのは、これは申請主義で申請に来た方(の件数)か。

(事務局)

はい。

(委員)

申請に来ない方というのは、申請に行ける状態で行かないのか、行けない状態で行かないのか、というところが問題になると思う。その辺の事情を教えてください。

(事務局)

罹災証明については税務課という部署で担当しているが、色々な制度で減免があるが、基本的には床上浸水であることが条件となっている。この床上浸水されている方については、既に全員罹災証明の申請、証明の発行を行っている。床下浸水の方については、一部申請されていない方もいる。色々な減免の対象になる方については、証明書を発行している。

(委員)

障がいをお持ちだとか、高齢の方だとか、保険料の減免でも、郵送されてきた内容を理解できずに申請に行けないという方もいると思う。自宅で情報も来ないし、情報もわからないし、実際に自分では(免除を)受けられないという方に必要な物が届いていないということをお聞きしている。今後災害の際には、恐らく民生児童委員さんが活躍されているのだと推察はするが、そういった方と上手く連携を取りながらということを考えていただければと思う。

(会長)

この介護サービス、医療もそうだが、支払猶予の期間はいつまでか。

(事務局)

来年、令和2年の1月末の分までとなっている。

(委員)

高齢者世帯の方や避難できない方への支援はどのようになっていたのか。福祉避難所へ避難された方はいるのか。

(事務局)

高齢者に関しては、独居、老々世帯、介護3以上の方で避難に支援が必要な方について、避難警報や勧告が出た段階において民生児童委員さんに連絡をさせていただき、訪問誘導の依頼をさせていただいた。それ以外には、消防団や市職員が避難勧告が出た段階で、訪問をさせていただいて、避難の誘導を行った。その中でも既に避難されていた方や避難所に行かずに留まるという方など様々だったが、避難の誘導

と勸奨はさせていただいた。

(委員)

福祉避難所へ避難された方は何名かいるのか。

(事務局)

福祉避難所は5か所、これはデイサービスが2か所、特別養護老人ホームが3か所の合計5か所だが、6世帯で13人の方が福祉避難所に避難された。

先程の避難についての付け加えだが、普通の車では本人が移動しにくい、例えば車椅子で乗れる車などがなくてどうやって連れて行ったらいいのか、そういった課題が出た。今後は例えば、デイサービスの送迎者を利用させていただけないかとか、その辺を各施設と詰めさせていただいて、今後考えていきたい。

(委員)

独居の方やお二人の高齢者世帯が多いと思うが、避難所から戻られた後、避難所の閉鎖後に巡回だとか、相談も含めた巡回などの活動は市として一通り行ったのか。

(事務局)

市では10月23日に、保健所の保健師さんにも支援させていただいて、全数訪問を行った。それ以前には、独居、老々の世帯の方へは巡回させていただいた。必要な罹災証明のチラシも一緒に配った。その中で、ちょっと眠れないとか、避難優先で高血圧の薬を飲んでいなく、片づけ優先で自分の体のことなんて後回しだという声もお聞きしたので、服薬の確認をさせていただいた。フォローが必要な方については、地区担当の保健師が今後も関わっていく。

(5) その他

(事務局)

令和2年2月29日土曜日に「望ましい最期を迎えるには」準備をしておきたいこと、仮題だが、講演会を行う予定になっている。市でも高齢化が進む中で、終末期医療への関心が高まっていて、誰しも自分にとって望ましい最期を迎えるにはどうしたらいいのか、ということを考える機会にしたいということで、諏訪中央病院副院長の高木先生をお呼びして講演会を予定している。

(6) 閉会（副会長）（午後2時2分）